

# 「がんばっぺB」

## 親子で宇部の夏休み

### 福島県から 花火やお祭り参加も

東日本大震災で被災した福島県の子供たちに楽しい時間を過ごしてもらおう企画「夏休み夢プロジェクト5」の「がんばっぺB」が、3日から宇部市内で始まった。同県から来市した自閉症の子供がいる家族3世帯の大人3人、子供5人が参加。外遊びや市民との交流を満喫している。



プール遊びを楽しむ参加者（ココロンドで）

同プロジェクトは、官

民協働プロジェクトチー

ム「復興支援つべ」が活

動経費の一部を負担し、

福島の子どもたちとつな

がる宇部の会（橋本嘉美

代表）が企画運営してい

る。宇部フロンティア大

と山口東京理科大の学

生、OBで構成するサー

クル「すたんどあつぷ」

（油利健二代表）もスタッ

フとして協力している。

4日にはココロンドを

訪れ、体育館でびっしょ

り汗をかくまで遊び、プ

ールにも入った。日程は

10日までの7泊8日で、

常盤公園や美祢市の秋芳洞などを巡り、そつめん流しや花火、お祭りも体験する。

子供2人を連れて参加

した母親は「子供の喜ん

でいる姿を見られて本当にうれしい」。息子と一緒に訪れた父親は「男2人旅で楽しんでいる。普段は子供を妻に任せていることが多いので、家族サーブिसもできた」と笑顔を見せた。つながる宇部の会の武永佳子事務局長は「子供はもちろん、親たちにも存分にリラックスしてほしい」と話した。

（上本）